

認定NPO法人  
TSUBASA

「人・鳥・社会の幸せのために」

[www.tsubasa.ne.jp](http://www.tsubasa.ne.jp)

とり村回覧板20周年特別号

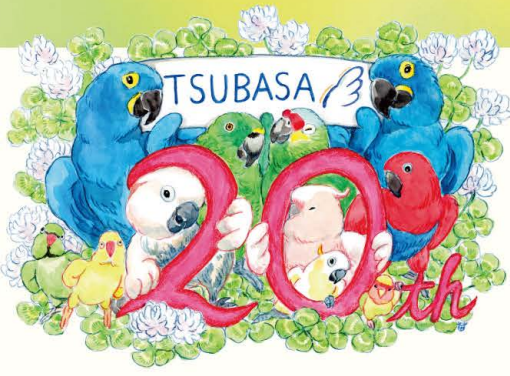


# TSUBASA設立 20年の軌跡

TSUBASAは2020年3月で20周年を迎えることができました。

今回の回覧板は、20年の活動をまとめた特別号となります。

TSUBASAの歴史を振り返りつつ、今後も応援していただけますと嬉しいです。



# TSUBASA設立20周年のご挨拶

2000年3月21日。元親会社(株式会社ロムテック)の部門として「TSUBASA」が誕生し、今年(2020年)で20周年を迎えることになりました。

次のページの年表をご覧ください。おわかりいただけると思いますが、TSUBASAはいろいろな経緯を辿り、現在は認定NPO法人として活動しています。

ある調査によると、設立してから10年後に存続している法人(株式会社やNPO法人など)は、約3%というデータがあります。つまり約97%は廃業、倒産、吸収合併等で消えていったということでしょうか。そのような状況下でTSUBASAが20周年を迎えたということは、驚き以外のなにものでもありません。

というのは、20年順調に歩んできたかと言っても、そんなことはありません。

20年の間何度も、何度も「約97%」の中に入りそうになりました。TSUBASAがここまで存続できたのは、ひとえに愛鳥家の皆様のご支援があったからです。

ほんとうにありがとうございました。

20年という皆様にもいろいろなことがあったように、TSUBASAでもいろいろなことがありました。

そのすべてを語ることはできませんが、TSUBASA設立直前&直後のエピソードをお伝えしたいと思います。

時代は1996年に遡ります。「鳥業界を変えたい」という長年の思いから、最後の挑戦で「CAP!」というコンパニオンバード専門店を作りました。

このCAP!を運営しているときに、愛鳥家さんからのたくさんの相談をいただきました。相談の内容は飼育のことも多いですが、鳥たちの鳴き声、咬みつき、毛引きなどの悩み、そして引き取りや虐待のことなどの相談も頻繁にありました。

そして気がつく1年間で十数羽の鳥たちを引き取っていました。

「CAP!」では生体を販売することで経営が成り立ちます。しかし一方では飼えなくなった鳥を引きとる、という現実にも悩みました。「鳥業界を変えたい」ということは、生体販売では実現できない、そんな思いが強まってきました。

そんなときに2000年2月、アメリカで第一回ガブリエル財団シンポジウムが開催されました。

3日間におよぶシンポジウムに私たちは参加し、海外の鳥事情を目の当たりにしカルチャーショックを受けました。

そして無謀にもその足で、シンポジウム会場から約1000km離れたガブリエル財団を訪問しました。

ガブリエル財団の主宰者であるジュリー女史は、私たちの訪問を歓迎してくれました。

見学はもちろんのこと、ジュリーと2日間じっくりいろいろな話を聞かせていただきました。

すべてが「目から鱗」でした。

興奮冷めやらぬ帰路の飛行機の中で、TSUBASA設立構想案を練りました。そして翌月の3月21日にTSUBASAを設立した次第です。

TSUBASAを設立後、とても重要な決断をしなくてはなりませんでした。

それはCAP!での生体販売中止です。これには愛鳥家の皆様からたくさんの抗議をいただきました。

そして関係者からは「CAP!が潰れる」、「TSUBASAも共倒れする」と猛反対されました。

しかし皆さんの抗議や反対を押し切って、2000年12月31日正式に生体販売を中止しました。

案の定、あっという間に経営難に陥りました。売り上げはもちろんのこと、来客も激減。そりゃそうです。当時ペットショップは生体を販売するのは常識でしたので、販売しないCAP!に行っても楽しくないでしょう。

さらに追い討ちをかけたことがあります。経営的に厳しくなることは想定内でしたので、拠点を埼玉から千葉県富津市の小高い山の上に引っ越しました。

鳥たちにとって環境は抜群に素晴らしいですが、来訪される愛鳥家さんにとっては不便な場所でした。

さらに来客は激減しました。2000年12月31日で生体販売を中止したため、その時点で鳥たちが約230羽いました。彼らのお世話代(人件費など)や食事代、治療費などの経費はかかります。想定以上に経費がかかり、経営難に。正直「潰れる」と思いました。

しかしインターネットの普及率も上がり、CAP!での通販業務が少ずつですが上向きになってきたのです。

当時、経営難に陥った私たちを支えてくれたのは、この時期に通販でお買い物を継続してくれた皆様がいらっしゃったから、といっても過言ではありません。

いわゆるどん底でしたが、「鳥業界を変えたい」という志や信念を貫けたのは、愛鳥家の皆様のおかげです。

過去に前例がないことが多いので、TSUBASAでは新たな道を開拓しなくてはなりません。

20年の間に道を間違えたり、迷ったりすることもありました。そんなとき道標を教えていただいたり、叱咤激励をしていただいたのも愛鳥家の皆様です。

20周年を迎えたTSUBASAですが、当初から2つの相反する目標があります。

それは「施設に鳥がいなくなること」、そして「永続しなくてはならない」。そのためにも、愛鳥家の皆様とともに新しい道を歩んでいきたいと思えます。

TSUBASAの理念である「人・鳥・社会の幸せのため」に、これからもどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

認定NPO法人 TSUBASA

松本 壯志



# TSUBASA 20年+αの歩み

1996

**12月** ペットショップCAP!が東京池袋にオープン



動物業界を変えたい!の想いで  
ペットショップをオープン。  
当時は犬、猫を取り扱い、消毒や検疫等、  
今に繋がる取り組みも。

1997

**9月** オオバタンのトキちゃん保護

どこのショップでも引き取り手の無い  
トキちゃんとの出会い。  
この出会いがCAP!を大きく  
変えていく事に。



1998

**4月** 鳥専門店になる

トキちゃんの保護をきっかけに  
鳥に関する相談が増えていく。

1999

**4月** 池袋から埼玉県三芳町へCAP!を移転



伝説の中庭とロンドンタクシーの  
送迎が話題を呼ぶ。鳥グッズの  
レンタルBOXも開始!

**9月** 第1回 CAP!フェスタ  
開催

鳥業界初の(?)鳥専門の  
グッズ販売フェアを開催。

2000

**2月** 第1回 ガブリエル財団(米国)  
シンポジウム参加

日本人で初めてこのシンポジウムに参加。

**3月** 保護団体TSUBASA  
(現 NPO法人 TSUBASA)設立

アメリカ ガブリエル財団を参考に  
日本でも飼う鳥の保護施設を始動。

**8月** 第1回 TSUBASAシンポジウム



©小鳥のお医者さんより

2001

**2月** 第2回 ガブリエル財団  
シンポジウム参加

日本人初、松本がガブリエル財団シンポジウムにて講演。

**12月** 生体販売を正式に中止

販売の一方で飼えなくなった鳥たちの保護という葛藤の末、  
売り上げの柱であった生体販売の中止を決断。

2002

**1月** 第3回 ガブリエル財団シンポジウム参加

2年連続、ガブリエル財団シンポジウムにて松本が講演。

2003

**4月** CAK(千葉県富津市)  
オープン

小型インコ用サンクチュアリ  
「鳥とふれあいの場」が完成。



2005

**7月** さよならタロー部長



営業部長としてスタッフだけでなく、  
お客様や鳥たちにも愛されていた  
シェットランドシープドッグの  
タローが天国へと旅立つ。

2006

**5月** 第1回 MTB開催

Meet The Birdを略した「MTB」という里親会を開催。

**7月** 第1回 愛鳥塾開催

気軽に鳥のことが学べるよう「塾」というスタイルで勉強会を開始。

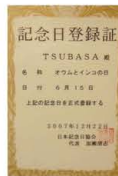
**8月** 三鷹サテライト(東京都三鷹市)  
オープン

「鳥達に社会性を」をコンセプトに、  
二階にはふれあい型パードランを  
完備したCAP!アンテナショップを  
オープン。



2007

**12月** 6月15日が「オウムとインコの日」に正式に認定される



06(オウム)と15(インコ)の日に、亡くなった  
鳥たちの供養とコンパニオンバードとしての  
鳥たちの幸せを願う日として申請した。

2008

**7月** 第1回 慰霊祭

06(オウム)と15(インコ)の日に、  
世界中の全ての亡くなった鳥たちの供養を行う慰霊祭を初開催。



**11月** CAK一時閉鎖

施設内の一部のエリアでクラミジアが発生したため閉鎖(2週間で陰性)。

2009

**2月** 第1回 TSUBASAフォーラム(ゲスト:ムツゴロウさん)

TSUBASAの一年間の活動報告会としてTSUBASAフォーラムを開催。



**8月** 埼玉県新座市にTSUBASA  
サポートショップがオープン

7月に三鷹サテライトをクローズ。  
そのコンセプトを受け継ぎ  
TSUBASAサポートショップが始動。

## TSUBASAで開催している啓発系イベント

TSUBASAでは2000年のシンポジウムを皮切りに、愛鳥塾やフォーラム、セミナー、愛鳥祭など、様々な啓発活動を開催してきました。それぞれ、著名な獣医師や業界人などに講演をしていただきました。

### ● 愛鳥塾

元々少人数での勉強会からスタートしましたが、2020年には記念すべき100回目を迎えます。

### ● バードライフアドバイザー 認定講座

飼う鳥に限定した認定講座です。1~3級それぞれに応じたコンセプトを元に、ご自身の愛鳥だけでなく、周りや社会に対して何ができるのか、一緒に勉強していくことを目的としています。

### ● TSUBASAフォーラム

スタッフ、理事による活動の発表と、若手スタッフの成果発表等、TSUBASAの活動について広くお話しさせていただく場です。

### ● TSUBASAシンポジウム・セミナー

6月15日(オウムとインコの日)にちなんで開催したのを皮切りに、シンポジウムは現在では愛鳥祭で開催しています。セミナーはより勉強色が強いイベントです。

# TSUBASA 20年+αの歩み

2010



**7月** 47羽の鳥を一斉レスキュー  
およそ50cm四方ケージ1つに詰められ、動物園前に遺棄されたセキセイインコ47羽をレスキュー。

**9月** 第1回 TSUBASAセミナー

2011

**2月** とり村オープン

セレモニーでは鳥たちがご来賓の皆さまを厚くおもてなし。

**10月** 株式会社ドリームバード設立

CAP!とTSUBASAがドリームバードとして株式会社を設立し、株式会社ロムテック(元親会社)から独立。



**10月** 第1回 ABiCo開催

(千葉県我孫子市)  
Abico(Asia Birds Convention)にTGF(ガブリエル財団)のジュリー・ムラード氏とショーナ・ロバーツ氏を海外よりお招き。

2012

**7月** 95羽の鳥を一斉レスキュー

他動物レスキュー団体と連携して、営業停止のペットショップよりレスキュー。



**8月** 「支援の羽」開始

クリエイターさまから作品をご提供いただき、その売り上げを鳥たちのために使わせていただく活動「支援の羽」を開始。

**8月** TSUBASAがNPO法人として独立

TSUBASAがNPO法人として、株式会社ドリームバードから独立。

**11月** 第2回 ABiCo開催

海外よりアイリーン・M・ペーパーバーグ博士をお招き。



2013

**7月** バードラン利用の際の  
クラミジア検査開始

感染症検査の強化のため、バードランをご利用いただく鳥さんに検査のお願いを開始。



2014

**12月** 「認定」NPO法人になる

NPO法人から「認定」NPO法人へ。

2015

**3月** 「埼玉県指定」NPO法人になる

埼玉県の認定をいただき、埼玉県指定NPO法人に。

**3月** 「バードライフアドバイザー認定講座」開講

構想から約10年、初めての鳥に特化した認定講座を開講。

2016

**6月** 第1回「愛鳥祭」開催

TSUBASAで行っている4大イベント。(鳥グッズ販売、シンポジウム、バードラン、MTB)を同時に行うイベントを東京農大で初開催。

**10月** 愛知トリエンナーレ改善指導・サポート里親会開催



芸術祭の作品に使われていた100羽の鳥たちの環境改善指導。芸術祭の終了と共に、健康診断、治療を行い、トリエンナーレ実行委員会と共に愛知で里親会を開催。

2017

**10月** ボルナ検査のため、とり村一時閉鎖

里子に出た鳥からボルナウイルスが検出されたため、施設内の鳥も一斉検査(全て陰性)。

2018

**3月** 横浜セキセイサポート里親会開催

個人宅にて、増えすぎた150羽のセキセイインコの里親会を市役所と協力して開催。



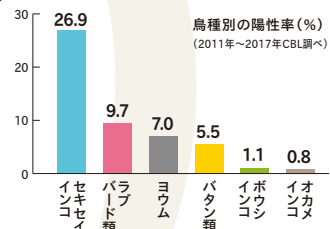
**7月** 「バーチャルMTB」開始

遠方のお客様との出会いを広げるためにインターネットを介したMTBの取り組みを開始。

2019

**3月** バードラン3種項目 検査開始

感染症検査のさらなる強化のため、クラミジアの検査に加えてPBFD・BFDの検査も必須に。



2020

## 【資料】海外視察・研修

国内だけでなく、国外へも目を向けて、広い視野で勉強していくことはとても大事なことです。TSUBASAでも海外の情報を積極的に取り入れ、国内に発信してきました。

1998年	9月	スペイン	カナリア諸島	国際オウム会議に参加
2000年	2月			第1回ガブリエル財団シンポジウム参加(日本人初)
	5月			ニューライフパロットレスキューセンター訪問
2001年	1月			ハワイにあるレスキューセンターに表敬訪問&実習
	2月			第2回ガブリエル財団シンポジウムで松本が発表(日本人初)
2002年	6月			ガブリエル財団主催のイベントに参加
2006年	9月	スペイン	カナリア諸島	国際オウム会議に参加

2007年	5月			ガブリエル財団ジュリー氏とのワークショップ
2009年	12月			ガブリエル財団表敬訪問
2014年	5月			ドイツフランクフルトのティアハイム訪問
	9月			TSUBASAスタッフ、ガブリエル財団へ3ヶ月の研修
2018年	5月			ドイツベルリンのティアハイム訪問
	9月	スペイン	カナリア諸島	国際オウム会議に参加
2019年	9月			ガブリエル財団表敬訪問

# とり村回覧板 ～創刊号から最新号まで～

▶ 飼育に関する記事 ▶ TSUBASAの活動・レスキューに関する記事

**0**  
2010年  
3月発行

- ▶ おかげさまでTSUBASAは10周年
- ▶ TSUBASA10年の歩み(年表)

**1**  
2010年  
7月発行

**創刊号**

- ▶ 社団法人化と次の目標
- ▶ それいけTSUBASA 探検隊
- ▶ やってみよう!
- Positive Reinforcement
- 3分フォーミング

**2**  
2010年  
7月発行

- ▶ 千葉CAKの歩み
- ▶ とり村で会いましょう
- ▶ やってみよう
- FORAGINGのススメ

**3**  
2011年  
1月発行

- ▶ 2010年10大ニュース
- ▶ とり村開村まで後わずか
- ▶ ファイナー千葉CAK
- ▶ 自然木を試そう! 他

**4**  
2011年  
4月発行

- ▶ 社団法人TSUBASA 定例会ご報告
- ▶ 社団法人の組織図
- ▶ とり村のお財布事情
- ▶ 東北地方太平洋沖地震でのレスキュー報告 他

**5**  
2011年  
7月発行

- ▶ 47羽のセキセイレスキューレポート
- ▶ 東北地方太平洋沖地震レスキューレポートVol.2
- ▶ やってみよう! 水浴び&家庭菜園 他

**6**  
2011年  
12月発行

- ▶ ドリームバード設立の経緯
- ▶ 里親会MTB について
- ▶ 鳥さんのためのアロマセラピー
- ▶ 「鳥のきもち」発売おめでとうコラム

**7**  
2012年  
1月発行

- ▶ 教えて獣医さん
- ▶ やってみよう!
- フォーミングのアイデア提案

**8**  
2012年  
4月発行

- ▶ とり村1周年フォーラムレポート
- ▶ 「鳥愛」レポート
- ▶ CITES 初級講座
- ▶ 獣医さんに聞いてみよう!
- さし餌の切り替えについて 他

**9**  
2012年  
7月発行

- ▶ 同鳥会レポート
- ▶ 鳥愛開発レポート
- ▶ 止まり木を作ろう
- ▶ 獣医さんに聞いてみよう!
- 夏に気をつける事 他

**10**  
2012年  
11月発行

- ▶ 95羽レスキュー報告
- ▶ もしも、悪質ショップを見つけたら
- ▶ 埼玉での一年間のMTB
- ▶ 獣医さんに聞いてみよう! これからの季節にご用心「クラミア症」他

**11**  
2013年  
1月発行

- ▶ 新年のご挨拶
- ▶ 愛鳥さんに起こりやすい問題・肥満について知っておこう
- ▶ 愛鳥家さんこんにちは!
- ▶ 95羽里親会のご報告 他

**12**  
2013年  
4月発行

- ▶ 目指せ! 認定NPO法人ってなに?
- ▶ アイリーン・ペーパーバーグ博士直伝 やってみよう「モデル/ライバル法」
- ▶ 頑張りぼうちゃん! ダイエット奮闘記
- ▶ TSUBASA の里子制度
- ▶ やってみよう! 愛鳥さんの健康チェック「飲水測定編」
- ▶ 愛鳥家さんこんにちは!
- ▶ ボラレポ (ボランティアさんレポート) 他

**13**  
2013年  
7月発行

- ▶ 餌の保存方法を考えよう
- ▶ 初めてのペットショップイベント
- ▶ 毎日の鳥のお世話について
- ▶ 愛鳥家さんこんにちは!
- ▶ 施設の鳥さんの出入り
- ▶ ボラレポ (ボランティアさんレポート) 他

2010年から発行している季刊誌「とり村回覧板」。現在まで発行している号をまとめてみました。



とり村回覧板は、ホームページから無料でダウンロードできます

14

2014年  
1月発行



- ▶ 新年のご挨拶
- ▶ TSUBASA 中庭リニューアル
- ▶ 施設の鳥さんの出入り 他

15

2014年  
4月発行



- ▶ 劣悪な飼い主から緊急レスキュー
- ▶ 病院選びについて
- ▶ にぎやかバードの主張

16

2014年  
7月発行



- ▶ 第12回TSUBASA シンポジウムレポート
- ▶ 万全ですか?夏の暑さ対策
- ▶ ご支援のお願い 他



17

2015年  
1月発行



- ▶ 認定NPO ご報告
- ▶ キビタイ緊急レスキュー
- ▶ クリッカートレーニング講習会報告
- ▶ 愛鳥さんの「鳴き声」事情
- ▶ アメリカの鳥さん毛引事情 他

18

2015年  
6月発行



- ▶ バードライフアドバイザー
- ▶ 3羽のインコ緊急レスキュー
- ▶ ケージ選びのポイント
- ▶ 愛鳥さんの「鳴き声」事情
- ▶ 鳥にゆかりの神社あれこれ 他

19

2016年  
1月発行



- ▶ 愛知県から33羽緊急レスキュー
- ▶ 里親さんからの手紙
- ▶ TSUBASA 里親会
- ▶ 鳥のおもちゃとTSUBASAのおもちゃ事情
- ▶ 鳥さんの保温について
- ▶ 『BLA 認定講座』ご報告

20

2016年  
7月発行



- ▶ 声なき鳥たちのSOSを拾うのはだれ?
- ▶ ラブ先生が行く!出張講演レポート
- ▶ 手に乗ることは幸せの唯一の道?
- ▶ ボランティアに参加しませんか
- ▶ 怖がりの鳥さんに信頼してもらうには
- ▶ 『BLA 認定講座』受講生募集中!

21

2017年  
1月発行



- ▶ あいちトリエンナーレ緊急対応ドキュメント
- ▶ ペットヒーターのメンテナンス
- ▶ ヨウムを飼っている方必見! ヨウムと登録票について
- ▶ 『BLA2 級』のコンセプト

22

2017年  
7月発行



- ▶ TSUBASA 鳥の病氣白書
- ▶ 鳥さんを迷子にした・外で鳥を見つけたその時、どうする? 他

23

2018年  
1月発行



特別号

- [なるほど! バードライフの知っておきたい10のポイント]
- ▶ 食餌が目指す!健康バードライフ!
  - ▶ 体重測定をやってみよう!
  - ▶ 便は健康を表すパラメーター!
  - ▶ 発情の何がいけないの?
  - ▶ 仕草でわかる鳥さんからのサイン
  - ▶ 鳥の状態にあわせた保温のしかた
  - ▶ 看護と向き合う初めの一歩
  - ▶ 防ごう!身近な危険と鳥さんの迷子
  - ▶ 手放す前に考えておくべきこと

24

2018年  
8月発行



- ▶ とり村バードラン「同鳥会」レポート
- ▶ 同行避難の準備
- ▶ 鳥さんのための夏バテ対策!
- ▶ 野生のヨウムは生き残れるのか
- ▶ 鳥のおもちゃのちょっと大切な話

25

2019年  
1月発行



- ▶ とり村バードラン検査項目追加のご案内
- ▶ 感染症から鳥さんを守るために
- ▶ 全国どこでも!家族との出会い
- ▶ 捕まえなくてもできる! 毎日の観察で健康チェック 他

26

2019年  
8月発行



- ▶ ぼっちゃんバードさんへ贈る無理のないダイエット
- ▶ 老鳥とのセカンドバードライフ
- ▶ 抜けた羽?抜いた羽??鳥たちの羽を知ろう
- ▶ 発情と上手く付き合おう!

27

2020年  
6月発行



20周年  
記念号

- ▶ TSUBASA設立20周年のご挨拶
- ▶ TSUBASA 20年+αの歩み
- ▶ とり村回覧板 ~創刊号から最新号まで~
- ▶ TSUBASAの里親制度と里子制度
- ▶ TSUBASAを支えるボランティアさんを募集しています!
- ▶ その時どうする!? 急な飼育困難を考える
- ▶ ペットの履歴書、意思表示カード

これからも続きます!

# 家族を迎える ～里親制度～

TSUBASAの鳥たちは常時、新しい家族を探しています。彼らを家族に迎え入れるための仕組みが【里親制度】です。

里親制度のお申し込み、詳細はコチラ▶



里親になるための約束

- 鳥さんを一生懸命大切に下さること
- とり村(埼玉県)に最低3回は足を運べること
- 先住鳥がいる場合、スタッフの指示に従い健康診断を行うこと

## 1 里親会に参加 ★

保護施設「とり村」で月に1度開催される里親会「MTB」に参加していただけます。  
※要事前予約



## 2 仮登録 (一次面会)

実際に鳥さんに会い、家族になりたいとのご希望を提出していただくことを仮登録といいます。

## 6 契約書等のやり取り

ホームステイ終了後に事務的な手続きを行います。引き取りには費用が発生します。おおよその目安は、HPをご覧ください。

## 5 ホームステイ&里親決定

鳥さんを1週間お家に連れて帰り、一緒に暮らしてみるホームステイをし、問題がなければ里親決定となります。



## 3 家族全員で鳥さんと面会 (二次面会) ★

②とは別の日に、改めてとり村にお越しいたごき、その子によって、手に乗せたりおやつをあげたりのコミュニケーションを取る時間と、体調等の説明をさせていただきます。



## 4 鳥さんの健康診断

自宅に愛鳥さんがいる場合は、健康診断の実施をお願いします。仮登録いただいた鳥さんもTSUBASAで健康診断を行います。



STEP①②は同じ日に行う事ができます。★印をつけているところは、とり村(埼玉県新座市中野)にお越しいただく必要があります。最低でも、3回とり村にお越しいただけることが里親の条件になります。

## 里親制度についてよくある質問

### 遠方ですが里親になれますか？ また一度の施設来訪で連れ帰れますか？

ご遠方の方でも里親になっていただくことは可能ですが、お越しいただいた当日に鳥さんを連れて帰ることはできません。原則3回はお越しいただく必要がございます。

### お家の鳥のお友達としてお迎えしたいです。相性を確認するため、鳥同士の面会はできますか？

TSUBASAでは、双方の鳥さんを感染症などから守るため、検疫の意味も込めてホームステイが終わり里親が正式に決定するまでは鳥同士の面会はお断りさせていただいています。お家の鳥さんのお友達としてではなく、その子だからこそ里親になりたいと思っていただけると嬉しいです。

### 成鳥になった鳥でも仲良くできますか？

すぐにはいきませんがゆっくりと時間をかけてあげれば仲良くなることは可能です。

### 高齢者でも里親になれますか？

ご高齢の方でも里親になることは可能ですが、鳥さんは長寿な生き物です。自分にもしものことがあった場合のためにも、愛鳥さんのお世話をしてくれる後継の方を探しておくことが必要になります。

### 里親決定後も継続して相談に乗ってもらえますか？

もちろんです！里親決定後もできる限りサポートさせていただきます。

## 颯(はやて)@文鳥

はやては、お迎えした当初からあまり物怖じしない性格で、新しい環境にも思いがけずすんなりと溶け込んでくれました。来た当初は、体重測定もなかなかさせてくれませんでした。すこしトレーニングをしたところ、すぐにT字の台に乗ることを覚えて、最近は留まって待てることもできるようになりました(笑) 旦那さんと一緒に遊ぶのが大好きで、朝、ケージからでて体重測定を済ますと一目散に旦那さんの居るところに飛んでいきます。旦那さんがいないときでも、いつもいるデスクの上で待機してみたり、紙と戦ったり(笑)して、一人遊びすることもあります。



その他にも素敵なお手紙が届いています。

ぜひご覧ください！▶





# 鳥さんのお別れ ～里子制度～

今、自分がお世話をしている鳥さんを  
飼えなくなった時にTSUBASAに鳥を引き渡す制度です。  
手順がありますが、命には代えられません。  
その通りに進めることが難しい場合でも、飼育困難になったら  
まずはTSUBASAにお問い合わせください。

## 1 TSUBASAに 電話をする

ヒアリングをして、今後の流れの  
確認、説明をします。

**TEL: 048-480-6077**  
(13:00～17:00)

## 2

### 【鳥と飼い主の 履歴書】を TSUBASAに送る。

鳥さんの病歴や好物など、必要な  
情報を共有するための書類です。  
※HPからダウンロードできます。

詳細はこちらから▶



## 3

### 鳥さんの 健康診断を実施

自分で鳥さんを健康診断に連れて行き、健康を確認します。TSUBASAの定めた健康診断を実施して、病気が見つかった場合は原則治療後の引き取りとなります。過去に病気をしたことがなくても、実施していただきます。

## 4

### 鳥さんを見送る

TSUBASAの保護施設まで鳥さんを連れてきて  
いただきます。

この時に、契約書と引  
取費用のやり取りを行  
います。原則、ご自分で  
鳥さんを連れてきてい  
ただきます。



### ご注意ください!

- 手続きには時間がかかります。  
悩んでいる場合は、早めにお電話ください。
- 一度手放した鳥さんについて、以降、  
面会や情報共有はいたしかねます。ご理解ください。

### まず、悩んだら1度ご相談ください。

先に、施設の見学を行う事もできます。愛する鳥さんの次の住居になる場所です。慌てずしっかり、検討するためにも余裕を持ってご相談いただきますよう、どうかよろしくお願いたします。

## これまでの引き取り、里親決定の総羽数

今年で20周年を迎えるTSUBASA。その歴史の中には、様々な理由によってTSUBASAに引き取られた鳥さんや新しい家族のもとに迎えられた鳥さんたちがいます。今までの引き取りと里子の総羽数をできる限り調べてみました!

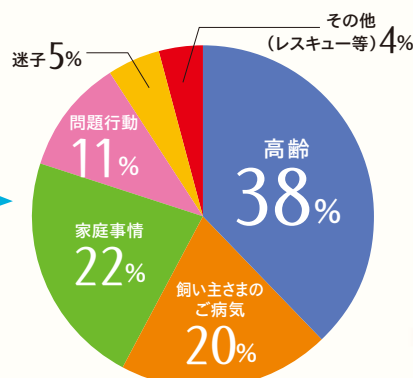
里子総羽数  
(2007～2019)

約**394**羽

引き取り総羽数  
(2007～2019)

約**456**羽

設立当初の正確なデータがなかったりと完璧な数字ではありませんが、今までにわかっているだけでもこれだけの羽数の鳥さんと関わってきています。結果として、里親決定数よりも引き取り羽数の方が多結果となりました。これからこの数字の差を少しでも少なくしていけたらと思います。



やはり、一番多い理由は高齢による手放しでした。大型鳥は平均寿命が50～60年と長く、人が先に寿命を迎えることも珍しくありません。また、ここ近年では人間の呼吸器疾患による手放しも増えてきていますので、鳥を飼っている方は注意が必要です。

## 「とある鳥さんの物語」

TSUBASAには、様々な事情で多くの鳥さんがやってきます。その中でも特に印象に残っている鳥さんのお話をご紹介します。

ある日、TSUBASAに一本の電話がかかってきました。約50歳になるキバタンを手放したい。というご相談でした。この飼い主様は20代の時にこの鳥さんと暮らし始めたそうです。そして年月が経ち、飼い主さまが高齢で息子さんのお家で一緒に暮らすために、現在のお家から引っ越しをすることになったそうです。

しかし、飼い主さま以外に慣れていないことや鳴き声の大きさ等が原因で、息子さんのお家では一緒に暮らすことができなかったそうです。

そうして鳥さんはTSUBASAに引き取られることになりました。

理由だけを見ると一般的な高齢者の方の手放しになるのですが、この飼い主さまは20代という若いご年齢で大型の鳥さんを飼い始めたにもかかわらず、手放すことになってしまっています。

このお話を聞くと、大型の鳥さんはどれだけ若くても自分1人だけでは飼いきれない動物なんだと実感します。皆さまがもし、大型の鳥さんを飼いたいと思ったときにこのお話を少しでも思い出していただけると嬉しいです。





# TSUBASAを支えるボランティアさんを募集しています!

TSUBASAには100羽を超える鳥たちが暮らしており、そのお世話には膨大な時間と作業が伴います。そのためTSUBASAでは、スタッフと一緒に鳥たちのお世話をお手伝いして下さるボランティアさんを常時募集しています。

## TSUBASA ボランティア

### 作業内容

- 鳥たちのケージやお部屋のお掃除
- 食器洗い
- ご飯やお水配り、ご飯作り
- 鳥が遊ぶためのオモチャ作り
- その他イベント準備や簡単な事務作業など

作業はほとんどが水仕事です(お湯はできません)。身体を動かしたり、重いものを持つこともあるなどなかなかハードな部分もあります。鳥と遊んでいただく時間はなかなか作れませんが、

一般のお客様では見ることのできないバックヤードでの様子を観察できるチャンスかもしれません。

作業内容で難しいこと(例えば腰痛持ちで重いものが持てない等)、ご相談いただければもちろん配慮いたしますので、ご遠慮なくお申し出くださいませ。



特に午前中のボランティアさんが不足しております

## TSUBASA ボランティア

### 作業時間

- ① 一日コース 9:00~16:00頃  
TSUBASAの一日の流れが見てみたい方にオススメ。
  - ② 前半コース 9:00~12:00頃  
主に食器洗いや、鳥のケージ・お部屋のお掃除をしていただきます。
  - ③ 後半コース 13:00~16:00頃  
ご飯・お水交換や、床掃除などをさせていただきます。
- ◆送迎をご希望の方は、柳瀬川駅までお迎えにうかがいます。

ボランティアの  
お申込み・  
詳細はコチラ



## ボランティア保険へご加入をお願いします

TSUBASAでボランティアにご参加いただく際には、前もってボランティア保険へのご加入が必要となります。

### ★ボランティア保険とは?

日本国内におけるボランティア活動中におこる、様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々を補償する保険です。各都道府県の社会福祉協議会が運営するボランティアセンターの窓口で行えます。

### ★加入していただきたいのは「Aプラン」となります。

保険料350円で、その年の年度末(3月31日)まで保証されます。ご不便とご負担をお掛けしてしまい大変恐れ入りますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

ボランティア  
保険について、  
詳しくはコチラ



ボランティアに来られる方々は皆さん愛鳥家さんなので、鳥好き同士のお友達ができるかもしれませんし、ボランティアからご縁が繋がり、鳥の里親さんになってくださった方もいます。ご興味のある方はぜひ、一度ご参加くださいませ!



餌と水の交換をしている様子です。



# その時どうする!?! 急な飼育困難を考える

基本的に、鳥さんと暮らしていたら一日に1度は必ずお世話をするはずですよ。

家を一日不在にすること位はあっても、何日間も、、、というわけにはいきませんよね。

ですが、もしもそんな事態が起こったら?

緊急入院、外出先でのトラブル、事故など、、、

即座に鳥さんの元に戻れないとしたら、最悪【放置死】という結果に繋がるかもしれません。

そんな事態に自分の愛鳥がならないために一緒に考えてみましょう。

鳥さんについて  
日頃から用意しておきたい物

- 鳥の食事のストック
- ペットの履歴書(次ページ参照)
- 通院情報
- 預かってくれる先の情報
- 意思表示カード

## あらかじめ考えよう

1 「意思表示カード」 (ページ下を参照)を 身につけている	<input type="checkbox"/> はい	<b>意思表示カード</b> ：出先で突発的に何かがあったときに、常に身につけておくことで「家に動物がいること」「その動物のために、誰に連絡したらいいか」等を第三者に伝えることができます。直接、意志を自分の口で伝えられない状況で皆さまに代わり、動物を助ける大切な役割を担います。
	<input type="checkbox"/> いいえ	
2 家族構成	<input type="checkbox"/> 一人暮らし	<b>意思表示カードは必須!</b> あらかじめ、周囲の人にも愛鳥の存在を知らせよう 一人暮らしの場合、出先で家に戻れなくなった、あるいは愛鳥の存在を第三者に伝えられないときが一大事。常に意思表示カードを持ち歩こう。
	<input type="checkbox"/> 複数人住まい	家族にも鳥さんの世話を伝えておこう
3 住居	<input type="checkbox"/> 賃貸	<b>大家さん・不動産屋さんから、第三者あるいは親族が鍵を借りられるか確認</b> <b>警察の介入があれば、家に入れるかも?</b> 誰かが鳥を助けに家に行っても、鍵が開けられなくてはどうしようもありません。身分を証明できれば、不動産屋さん・大家さん・警察の介入で第三者が家に入ることができるかもしれません。
	<input type="checkbox"/> 持ち家	
4 鍵の預け先	<input type="checkbox"/> 不動産屋・大家	親しい友人でも鍵を預けておくことは難しいかもしれません。 <b>あらかじめ、親族などに鍵を預けておけると安心</b> また、飼い主本人が家に戻れず意思表示もできないときは、一度警察に相談するなどしてみましょう。TSUBASAでは、飼い主の孤独死などのケースでは警察立ち会いの下、鳥を引き取るなどしています。
	<input type="checkbox"/> 親族 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> なし	
5 特筆事項	<input type="checkbox"/> 有 ・保温・問題行動 ・投薬等	<b>その鳥について特筆事項があれば、あらかじめ履歴書に書いておこう</b>
	<input type="checkbox"/> 無	
6 預け先(公共)	<input type="checkbox"/> ペットホテル	飼い主の代わりに家に入った人間が、必ず鳥さんの世話をできる状況とは限りません。 <b>なるべくたくさんの候補地を、書面に残すなどして困らないようにしましょう</b>
	<input type="checkbox"/> 動物病院 <input type="checkbox"/> ペットシッター <input type="checkbox"/> なし	
7 預け先(個人)	<input type="checkbox"/> 親族(近隣・遠方)	意思表示カードにも書ける鳥さんの預け先はありますか? 中長期、どなたかに預ける可能性を考えるとペットホテルとは別に、 <b>個人の知り合いもいると心強い</b> と思います。あらかじめ、鍵の受け渡しの事や鳥さんの情報を記した履歴書の置き場など話し合っておけると安心です。 災害時のことを考えて遠方の預け先も考えておけると更に◎。
	<input type="checkbox"/> 友人(近隣・遠方) <input type="checkbox"/> 知人(近隣・遠方) <input type="checkbox"/> 大家さん	



こちらの「ペットのための意思表示カード」と裏面「ペットの履歴書」を切り取ってお役立ててください。

### かかりつけの動物病院

病院名	電話
病院名	電話

### ペットの履歴書の保管場所(例: 2階寝室の机の引き出しの中)

ペットのお世話に必要な情報を書いた「履歴書」が保管されています。  
ペットのお世話をしてくださる方にお渡しください。

自由記入欄

✂  
切り取って  
お使い  
ください



# ペットの履歴書

年 月 日 現在 / 記入者

種類			名前		
性別	オス / メス / 不明		生年月日	年	月 日 生まれ
性格					
喜ぶこと	(例:話しかける、触るなど)				
嫌がること	(例:指が近づくなど)				
問題行動	(例:咬む、毛引きなど)				
毎日の食事	内容				
	ビタミン剤	無	・	有 (種類:	)
	好きな食べ物				
好きな物	(例:おもちゃ、鏡など)				
嫌いな物	(タオル、掃除機など)				
いままでの健康状態	(病気、怪我、手術 / 健康診断結果など)				
お世話の際、気をつけていただきたいこと					
その他					

## 自宅にペットがとり残されています!

私は自宅で動物を飼っています。現在、もし私が家に帰れない状態であり、動物のお世話ができない場合は、自宅の動物を守るため、下記の代理人への連絡にご協力ください。

代理人氏名

電話

メール

代理人氏名

電話

メール

## ペットのための意思表示カード

飼い主氏名

飼い主住所

飼っているペットの数  
(例:犬1匹、猫2匹、鳥1羽)

ペットの種類 / 名前

ペットの種類 / 名前

ペットの種類 / 名前

切りとって  
お使い  
ください

